きょうこう千葉 No.253

2020年12月発行

編集・発行／公益財団法人 日本教育公務員弘済会 千葉支部　　協力／株式会社 千葉教弘

きょうこうコンサート In 千葉県立栄特別支援学校

平成 27 年度から始まった「きょうこうコンサート」も5年目を迎え、毎年、特別支援学校の子どもたちと笑顔いっぱいの楽しい時間を過ごしています。今年度はコロナウイルス感染対策として各学校人数を分けて開催します。今回は、11月17日（火）に行われた県立栄特別支援学校でのコンサートの様子をお伝えします。

清々しい秋晴れの中、今年度のコンサートが始まりました。鈴木春雄校長先生と主催者代表挨拶のあと、楽器を叩きながら入場するハッチポッチクインテットを大きな拍手でお出迎え。演奏が始まるとみんな集中してすっかり聴き入っていました。

星野源さんの曲『ドラえもん』の演奏では、ドラえもんご本人(?)も登場し、大きな四次元ポケットから様々な打楽器が登場！初めて見る打楽器からお馴染みの打楽器までたくさんの紹介があり、目でも耳でも楽しむことができました。

みんなで一緒にボディーパーカッションをする『マンボのビート』では、“手のリズム”“足のリズム”“おなかのリズム”を演奏にのせて一緒にダンス♪楽しそうにしている子どもたちの姿が印象的でした。

『運動会メドレー』では、運動会でお馴染みのクシコスポスト・道化師のギャロップ・天国と地獄がメドレーで演奏されました。運動会を行っているような気分♪に思わず走り出したくなってしまいました。

最後に栄特別支援学校の皆さんとハッチポッチクインテットのコラボレーション！『ビリーブ』(中学部・高等部)と『さんぽ』(小学部)が演奏されました。ハッチポッチクインテットの演奏に合わせ、みんなで楽しく踊って、コンサートは幕を閉じました。

鈴木 春雄校長先生のご挨拶

ドラえもん(?)が楽器を紹介！

みんなでせーの『マンボのビート！』

今回の演奏団体　ハッチポッチクインテット

今年度はコロナ禍での開催となりましたが、音楽のチカラで皆さんに元気をお届けできたのではないかと思います。温かい打楽器の音色と子どもたちや先生方の楽しそうな様子が溢れた素敵な一日になりました。これから開催予定の学校の皆さまも楽しみにお待ちください。

今年度の開催校

- ◆第１回　11 月 17 日　栄特別支援学校
- ◆第２回　12 月９日　我孫子特別支援学校
- ◆第３回　１月 19 日　長生特別支援学校
- ◆第４回　１月 22 日　富里特別支援学校
- ◆第５回　２月９日　印旛特別支援学校

校長先生（前列左から四番目）と参加者で記念撮影

公益財団法人 日本教育公務員弘済会(略称 日教弘)の教育振興事業(奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)及び福祉事業は教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

ライフプラン・コンサルタント(LC)の

学校訪問

◆第 10 回◆

今回訪問した学校
千葉市立
加曽利中学校

学校データ
(令和2年7月6日現在)
〒264-0017
千葉市若葉区加曽利町
961-5
教職員数：38名
学 級 数：13
生 徒 数：424名

仲良く元気で 一生懸命

One Team 加曽利!!

～ 一人一人の生徒が自分らしく輝く学校 加曽利中 ～

シリーズ10回目は、創立74年目、近隣に特別史跡の加曽利貝塚がある千葉市立加曽利中学校です。
増澤保明校長先生へのインタビューを、ジブラルタ生命千葉第一営業所の塚本LCが報告します！

増澤 保明校長先生へのインタビュー

(このインタビューは令和2年7月6日に行われたものです。)

LC　校長先生こんにちは。
本日はお忙しい中お時間をいただきありがとうございます。加曽利中学校はかつて広い学区からたくさんの生徒さんが通われていたそうですね。加曽利中の歴史についてぜひ教えてください。

校長　開校当初は市内で1、2を争う大規模校でした。
昭和59年から61年のピーク時は1,550人を超えていました。都小、千城小、都役場跡の３箇所に分散した仮校舎でスタートし、翌年、畑地、松林を当時の地主の方のご寄付により校地としました。松の大木、切株、雑木等を2,500人の保護者の方々による勤労奉仕で整理したそうです。まさに地域住民によって作られた**「手作りの学校」**なんです。

▲増澤 保明 校長先生

LC　地域で協力して一つの学校を作るなんて、素晴らしいですね！！他にも地域とのつながりはありますか？

校長　地域の力で加曽利中の発展に寄与していこうという願いのもと、平成2年吹奏楽部の関東大会出場を機に**「加曽利中を励ます会」**が設立されました。加曽利中周辺に住んでいる自治会の方々からのご寄付により、加曽利中のあらゆる活動にご支援をいただいています。地域の学校である加曽利中を継続的・発展的に後援していくために、地域より広く活動資金を寄付していただき、スポーツ・文化活動の奨励、芸術鑑賞機会の付与・補助、学校生活向上のための施設の拡充、生徒への顕彰メダル授与などの活動に生かしています。

LC　自治会が地域で組織だってやっているところは中々ないですよね。地域との強いつながりを感じます。

校長　これほどまでに熱く中学校を応援していただいている地区・地域は、この加曽利中学区を除いて他にないことへの**「誇りと感謝」**を我々職員・生徒は決して忘れてはいけないと思います。

LC　学校で特に力を入れている取り組みはありますか？

校長　国語、数学、英語３教科の基礎・基本に力を入れています。特に数学については令和２年度、３年生で１クラスを半分に分けた少人数指導を始めました。また、週３回放課後ドリル（３教科）を行っているのですが、市販ドリルをやめ、先生による手作りドリルに変更しました。
先生方のご努力は素晴らしい。生徒一人ひとりをよく見てくれています。本当に感謝ですね。

LC　生徒も先生方も活気にあふれているように感じます。
校長先生のモットーは？

▲インタビューの様子

校長　モットーではありませんが、日頃から心がけていることがあります。
１つ目は、**「子どもは先生を選べない」**ということです。
だから、子どもの目線に立った指導・支援ができる教員でありたい。子どもをあなどってはいけません。子どもから学ぶことはたくさんあります。子どもをよく見てあげてほしい。そして、その子の良さを認めてあげてほしいです。
２つ目は、**「保護者からの信用無くして、学校は成り立たない」**ということです。この２つを日頃から心がけています。

LC　校長先生の気配り、心配りが素晴らしいです。そして、学校と地域のつながりは、まさに**「One Team」**ですね。

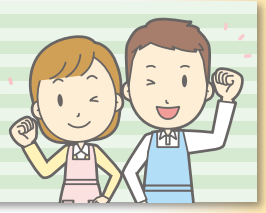
加曽利中の歴史のことなど、貴重なお話を聞かせていただきまして、ありがとうございました。今後も少しでも先生方のお役にたちますよう精進しますので、よろしくお願いいたします。

▲塚本 信子 LC

専門家に素朴な質問をしてみました Part4

＊今回のテーマ＊

介護に備える



専門家シリーズ第４弾！いつか直面するかもしれない“介護”。もしかしたら、自分自身や家族が？と心配の声が寄せられています。今回は、「介護の基礎知識と備え」について、ジブラルタ生命保険株式会社 堀内園子さん（マーケティングディレクター）に質問してみました。

超高齢化社会の日本において、「年金」と共に注目を集めているのが「介護」です。実際に２０２０年４月末現在、要介護（要支援）の認定を受けている人は約６６９万人となり、２０年前と比べ3.1倍にもなっています。

Q: 公的介護保険制度に関して教えてください。

A: ２０００年４月にスタートした社会保険制度のひとつで、国民が納める介護保険料と税金によって賄われています。被保険者は第1号（６５歳以上）と第2号（４０歳～６４歳までの医療保険加入者）に分かれていて、受給要件や保険料負担に違いがあります。また介護保険料は3年に1度見直されますが、その度に高くなってきています。

Q: 介護の現状はどうなっていますか？

A: 今や６５歳以上の約５．５人に1人、７５歳以上では約３．２人に1人の方が何らかの介護認定を受けています。そのうちの７０％が女性です。また要介護になった原因としては、男女ともに脳血管疾患（脳卒中）、認知症、骨折・転倒が上位を占めています。

Q: 要介護認定を受けたら、どうなりますか？

A: 認定は要支援１、２、要介護１～５の７段階に分かれており、介護の場所や利用できるサービスが異なります。またそれぞれの支給限度額（50,320円～362,170円）は昨年改定され、以前に比べて少し上がりました。

【要介護認定】

要支援１	社会的に支援が必要な状態
要支援２	社会的な支援がさらに必要な状態
要介護１	部分的な介護を要する状態
要介護２	軽度の介護を要する状態
要介護３	中等度の介護を要する状態
要介護４	重度の介護を要する状態
要介護５	最重度の介護を要する状態

Q: 要介護になった場合の費用は、どのような種類がありますか？

A: 主に初期費用、自己負担分、保険外費用の３つですが、特に自己負担分は、所得によって１～３割と開きがありますのでご注意ください。また想像以上に多額の保険外費用（公的介護保険制度の利用限度額以上のサービス、また対象外のサービスなど）が発生することが多い点にも注意が必要です。

Q: 介護に関して、今から考えておいた方がいい点があれば教えてください。

A: もしも自分自身、または家族が介護を必要とする状態になった時、次の4つがとても重要です。

- **「誰に介護をお願いするか」**
- **「どこで介護を受けるか」**
- **「どのような介護を希望するか」**
- **「費用はどうするのか」**

そしてそこには、家族構成や住宅環境、年齢なども大きく関わってきます。また介護保険制度の見直しも頻繁に行われていますので、詳しい内容は、共済事業（提携保険事業）提携保険会社：ジブラルタ生命保険の担当者にお尋ねください。

◆講師紹介◆

堀内 園子 マーケティングディレクター
ジブラルタ生命保険株式会社

金融知力普及協会認定インストラクター
日本ＦＰ協会認定ファイナンシャルプランナー

■趣　　味　映画鑑賞・スポーツ観戦（特にサッカー）
■好きな言葉　笑顔と感謝

＊＊＊＊ コメント ＊＊＊＊

最近は自分自身より先に、両親の介護問題に直面する方が増えてきました。背景には少子化、核家族化などの「家族のカタチ」の変化、更に平均寿命の延びも加わり、現代において「介護」は避けて通れない問題となっています。介護の「もしも」に対しても、一度ご家族でじっくり考えてみると良いかと思います。

キッズサプライズ連携事業

船橋市立西海神小学校にユニフォームを贈呈

千葉教弘では、教育文化事業の一環として“キッズサプライズ”と提携し小・中学校にユニフォーム等を贈呈する取り組みを行っています。
今年度は、船橋市立西海神小学校の器楽部にユニフォームを贈呈しました。

2020年11月13日（金）に船橋市立西海神小学校体育館で行われた贈呈式では、千葉教弘代表・安西支部長の挨拶の後、同校器楽部員全員にユニフォーム一式が贈呈されました。

プレゼンターにはドラム、ギター、サックスを兄妹で編成して活躍している3人組バンド「笹本兄妹」の恭平さん ・健介さん ・真由さんが登場し、部員にユニフォームを手渡しました。

贈呈式後は、「笹本兄妹」の生演奏と熱いメッセージを部員全員が目を輝かせて聞いていました。

その後、さっそくユニフォームを着て「笹本兄妹」も加わり全員での演奏が行われ、嬉しさと少しの緊張が伝わってくる元気ハツラツな音色が会場を包みました。

最後はみんなで記念写真。真新しいユニフォームに全員笑顔が溢れていました。

～新しいジブラルタ生命保険（株）学校担当LCをご紹介します！～

千葉教弘は、共済事業を推進するためにジブラルタ生命保険株式会社と提携をしています。
今回、新たに2名が学校担当 LC（ライフプラン・コンサルタント）として皆さまの学校を訪問させていただくことになりました。皆さまのライフプランを全力でサポートいたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

船橋支社　柏第一営業所

佐々木（ささき）　聡史（さとし）

この度、学校担当としてお伺いすることとなりました。共済事業を通して皆さまのお役に立てるよう精一杯努めてまいります。
ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

田中（たなか）　大空（おおぞら）

この度、学校担当となりました。不慣れなことも多いですが、少しでも皆さまのお役に立てるよう頑張ります。
よろしくお願いいたします。

ジブラルタ生命保険教職員専用フリーダイヤル
0120-37-9419

千葉支社
千葉市中央区問屋町1-35
千葉ポートサイドタワー 16F
☎ 043-302-2131

船橋支社
船橋市浜町2-1-1
ららぽーと三井ビルディング 4F
☎ 047-495-8260

損害保険NEWS!!

香取地区に新しく【損保提携代理店担当者】誕生！！

9月30日より香取地区で東京海上日動火災保険の教職員団体扱の自動車保険・火災保険を取扱い、販売できる代理店と提携いたしました。自動車保険を中心に新規のご相談からご加入後のアフターフォローまで、直接学校を訪問し、Face to Faceで対応できます。ぜひお気軽にご相談ください。

初めまして。この度、香取地区を担当することになりました今宮 仁之介です。
先生方のご負担にならないよう、限られた時間でお役にたてる情報提供を心がけたいと思っています。
微力ですが、日々忙しい先生方へのサポートを誠心誠意努めさせて頂きますので、何とぞよろしくお願いいたします。

今宮（いまみや） 仁之介（じんのすけ）〔担当地区 香取市・神崎町・東庄町・多古町〕
㈲アクティヴ ウィング 斉藤保険事務所
☎080－4088－9527

千葉教弘が発行している広報誌「きょうこう千葉」は、県内の公立小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園・こども園に発送しています。